

衆議院議員 民主党埼玉県第1区総支部  
たけまさ 公一 TAKEMASA REPORT  民主党

2004年  
9月

VOL. 35

# 国会レポート



今月号の内容

たけまさ公一 奔走中

沖縄へり墜落現場へ直行！

岡田代表と沖縄へ！

沖縄北方特別委員会

第2次岡田丸の出航！

## 2004年たけまさの決意

- 1、政権政党へ脱皮を図るため、政党文化の充実を！  
(マニフェストの具体化と深掘り)
- 2、したたかで、しなやかな日本外交づくり！  
(国連改革とアジア重視の日本外交に)
- 3、金融行政を公平・中立に！  
(国家行政組織法8条委員会は3条委員会に昇格すべき)
- 4、国民の生命・財産を守る！(“縦割り行政”打破でスピード・アップを)
- 5、地域限定の集団的自衛権容認は、憲法解釈変更が現実的！(憲法改正も)

# 1、米軍ヘリ墜落現場へ

8月13日、沖縄普天間基地周辺で訓練中の米軍ヘリ CH53D が沖縄国際大学の構内に墜落しました。その3日後の16日夕方、現地調査団の一員として事故現場へ直行しました。米軍と県警が綱を張って構内には近付けませんでしたが、黒焦げの校舎の前にヘリの残骸が横たわっていました。しかし、16日の午前中、既に米軍がヘリの尾にあたる細い部分を持ち帰ってしまいました。日本の私有地である大学構内にもかかわらず、県警が現場検証できないまま機体が撤去されて、どうして原因究明の事故調査ができるのでしょうか。航空機事故のいろはの「い」は「現場の証拠保全」であるからです。

18日、キャンプ瑞慶覧を訪れ在沖縄米軍ナンバー2のフロック司令官と面会しました。米軍ヘリ墜落事故後26時間もの間、警察・消防・大学関係者を現場から排除したことに対する抗議をし、1、訓練中止 2、日本の捜査権を認めよ 3、基地の整理縮小を 4、日米地位協定の改訂を 5、SACO 合意の見直しと基地の国外移設を 6、損害補償を の6項目の要請を行いました。司令官からは、墜落に対する謝罪はありましたが、捜査については県・県警と合意済みとの釈明で、何を聞いても政府を通じて聞いてくれの一点張りです。一体日本は独立国なのか？日本の主権はどこにあるのか？と憤りを覚えました。

外務省の説明は、「日本国内のどこにおいても、米軍関係飛行機の事故に関して、警察は米軍の同意がないと、現場検証ができない」と説明します。日米地位協定の合意議事録に「基地外のいかなる地域でも」という記載があるからです。18日には民主党として、在日米大使・外務大臣・防衛庁長官に要請を行い、同じく、訓練中止や日米地位協定の抜本改定などを求めました。私も東京へ帰り、党の会議やNC次の内閣で沖縄調査団の報告を行いました。しかし、そのさなかの22日、事故を起こしたヘリと同型機が飛行を再開してしまいました。一体、政府や県や地元自治体、そして民主党の要請を無視するのはなぜなのか？なぜ、米軍と県警の説明が食い違うのか？なぜ、昭和52年横浜市のファントム機墜落事故のように共同捜査をしないのか？これらの疑念に答えるため、国会閉会中の関係委員会の開催を求めました。まず、沖縄北方対策特別委員会が9月6日に開かれることになりました。真相究明のための第1弾とします。また、民主党沖縄基地問題プロジェクトチームを事務局長として立ち上げ、岡田代表も沖縄に行くことになりました。

(要請書の詳細はこちら

[http://www.dpj.or.jp/news/200408/20040818\\_moushiire.html](http://www.dpj.or.jp/news/200408/20040818_moushiire.html) )

## 2、岡田克也代表と沖縄へ(9月2日3日)

岡田代表の訪問団の一行として、沖縄国際大学米軍ヘリ墜落事故現場を訪れ、稲嶺沖縄知事との会談にも同席しました。会談では、真相究明を行う 日米政府に説明責任を求める 日米地位協定の改定を行う 以上3点を表明しました。

## 3、沖縄北方特別委員会(9月6日)

米軍ヘリ墜落事故の真相を明らかにするため、閉会中審査が開かれ、質疑に立ちました。私からは

北方4島視察での首相発言 沖縄県警が行った捜査内容 日米裁判管轄権の米軍による民有地立ち入りは事前の同意をとるべき 日本の警察と米軍の連絡がとれていないのではないかと 刑事特別法13条の改正を 昭和52年米軍ファントム機墜落事故不起訴の理由は？ ヘリ機体検証を米軍に囑託した結果はいつわかるのか ヘリ機体撤去をなぜ防衛施設庁は認めめたのか ヘリ機体の共同検証を行うべき 米軍の事件事故通報体制の見直しを行うべき 嘉手納ラプコン(米軍による航空管制)は日本に返還すべきと求めました。残念ながら今回では真相究明は進まず、沖北委に加え、安保・外務・法務・内閣委員会の開催を求めました。

## 4、第2次岡田丸出航

岡田克也氏が民主党の代表に再選されました。2006年9月までの2年間の任期となります。再選当日は『岡田克也さんと日本復活を進める会』を開催、記者会見の司会など、私も運営に忙しく動き回っていました。

5月に緊急登板してから「まっすぐに、ひたむきに」を掲げ、参議院選挙で党を躍進に導いた岡田代表ですが、本当の戦いはこれからです。全党一丸となり、次期衆院選での政権交代実現のため、着実な準備を進めてまいります。

みなさんで国会を見に行ってみませんか？

### 国会見学会 10月6日(水曜)

国会議事堂の見学をして、議員会館の食堂で、一緒にランチを食べます！

集合場所...北浦和図書館 時間...8時30分集合  
会費...3000円

### 第37回 たけまさ公一と語る会

テーマ 中国・外交

日時 9月26日(日曜)14時~16時

場所 さいたま市民会館うらわ (パインズホテル裏)

会費 無料

皆様のご意見お寄せ下さい！